

【研究主題】

互いの人権を尊重し、自分も友達も大切にできる子供の育成

授業実践(一部)

第四学年 総合的な学習の時間

単元名:バリアフリーについて調べよう

人権教育の視点:車いすを必要とする方との交流や障害についての調べ学習等を通して、障害者の気持ちについて理解を深め、心のバリアなど、多くのバリアがあることを知り、障害者が安心して暮らせるために自分にできることを実践しようとする意欲や態度を育む。

第五学年 学級活動

題材名:もっと仲良くなろう集会をしよう

人権教育の視点:クラス集会についての学級会を通して、集団や自己の生活、人間関係の課題を見出し、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定をしたりする態度を育てる。

第六学年 社会科

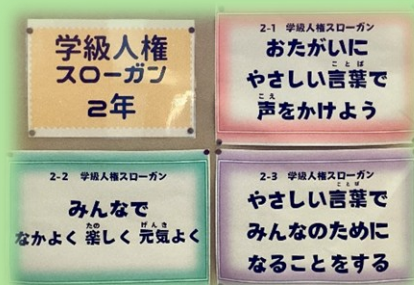
単元名:江戸幕府と政治の安定

人権教育の視点:江戸幕府と政治の安定についての探究的な調べ学習を通して、江戸幕府の身分制度の中で厳しく差別されてきた人々が、治安維持や社会を支えていたことなど、正しい知識を身に付けるとともに、偏見や差別なく互いの人権を尊重しようとする態度を育てる。

人権教育に関わる様々な取組

学級人権スローガン

11月のふれあい月間に合わせて、各学級で人権擁護について学級会で話し合い、「学級人権スローガン」を決めています。スローガンは教室や校内に掲示したり、昼の放送で紹介したりして人権を大切にしたい学級・学校づくりを行っています。



あいさつ運動

学期に1回ずつ、年3回のあいさつ運動を行っています。「あいさつの溢れる学校」を目指し、児童が主体となって活動に取り組んでいます。連雀学園の4校が同時期にあいさつ運動を行っているので、敷地内にはボランティアで参加する中学生の姿も見られ、活気のあるあいさつが響いています。



交流班活動

毎月1回はたてわり班(全学年)で、年度に2回はきょうだい学年(2学年)で、一緒に遊ぶ活動をしています。上の学年の児童は、下学年の子を楽しませようと知恵を絞って、遊びを工夫して計画、運営をしています。互いを尊重し合い、仲良く遊ぼうとする姿が多く見られ、自他の違いを認め合う素地を育んでいます。

